

社会福祉法人 友愛十字会

ゆうあい

1999

4・1

No. 19

題字 前総裁 三笠宮崇仁親王殿下



主な記事

- 素晴らしき子供達……………総裁 三笠宮寛仁親王殿下
- 福祉と共に……………理事 池堂政満
- 衛生管理……………砧ホーム医師 高橋正司
- 「セルフ」が大きな力となるために……………世田谷更生館館長 石井晃



素晴らしき子供達

社会福祉法人 友愛十字会

総裁 寛 仁 親 王

恒例の「宮様ファミリースキースクール」が、十周年の佳き年を迎え、記念大会という事で、延べ八十四名の参加者を得て、志賀高原熊の湯スキー場に於いて、盛大に開催され、無事終了した処です。

節目の合宿ですから、様々な新企画が組み込まれ、どれもこれも成功したのですが、特に感動させられたのは、生徒主催による「前夜祭」でしたので、報告その事を記しておきます。

まず仰天させられたのは、一人一人に手書きのプログラム(四種類)が、渡された事です。女の子のアイデアでせうが、レイアウト・イラスト等々見事なものであり、冒頭から、ほのぼのとした気持ちになりました。

総合同会が、最上級生の男女(十七歳)により為され、個人戦のビンゴから始まりました。

スポーツ種目と参加者名を九個の枠目に書き込むという形のゲームですが、事前に私達に依頼のあった色紙が、賞品になっており、二十四歳の若手プロは一等賞になって、私の色紙を受け取り、「家宝に致します。」と喜び、年配のコーチ達から、「十年早いぞ！俺は、まだ戴いてないぞ」などと毒突かれていました。

高二男女の素敵なスクウェアダンスがあり、二曲目は、驚いた事に、コーチ達も舞台上に上げられ、指導され、踊らされたサンバでした、雪上の猛者達は、思いもよらず、息も絶え絶えで汗をかくはめになりました。

中三男女は、男子生徒の兄事なピアノ伴奏で、ドレミの歌と、ヒットチャート上位の曲らしいものの、我々コーチ陣には、チンプンカンプンの歌の合唱でした。

そして、全員参加のジュエスチャー・ゲームで、皆が、七転八倒の大爆笑で笑いころげている内に、生徒全員が、合宿に入ってから毎晩「夜なべ仕事」で造ったという、手造りの写真立や、松ボックリのプローチが全コーチに贈呈され、大人達が、感動に浸り切っている間にエピソードを迎えました。

校長として本当に感心したのは「アイデア」の卓越さというか「創意工夫」の凄さであり、すべてが、身の回りで手に入る機器と素材を使つての「手造り」のプレゼントや、東京からリハールを繰り返したという演目に対する努力に因っていました。

そして何よりも素晴らしかったのは、式次第

が過不足無く、全生徒に割り振られており(障害児を含む)、一人一人が生き生きと自分の出番を見事にこなしていた事でした。

今一つは、二時間程の楽しい時間帯の中で、参加者全員(生徒・コーチ・父母・地元関係者等)が、必ず参加出来る形になっている演出の見事さでした。そしてその中でも秀逸だったのは「オムツ」の頃から面倒を見ていたはずの生徒達が、きちんと、コーチ達を立てるべき時は立て、コミカルにからかうかと思えば、笑いの対象にもし、尚且つ、母親達を感涙に噎ばせるといった事を、極く極く自然にやってのけた事でした。

創意工夫の重要性・手造りの大切さ・全員参加のアイデア・人間としてのマナーの修得、以上四点が、見事に備った「前夜祭」でありました。

肝腎のスキー技術ですが、約五十名の参加者全員が、志賀高原全山滑走ツアーに挑戦し、コース実距離約五十キロメートルを二日間で完走した事で、春の悪雪にもかかわらず、概ね六十キロメートル近く滑走した事になり、十年の歩みは、見事に証明されました。

又、記念競技会では、往年のオリンピック選手を含むプロフェショナルの中で、校長の長女が、総合優勝。次女が二位。昔年のプロの長女が三位。ブロック別では妃殿下が一般女子で優勝。永田宮務官が一般男子で優勝という、赫々たる戦果を挙げた事で、校長の面目躍如たるものがあつた事を付け加えておきます。



福祉と共に

理事 池 堂 政 満

福祉への志を抱いて鹿児島より上京、厚生省社会局にお世話になったのが昭和二十六年の春でありました。以来、今日まで四十八年余に亘り厚生省及び福祉関係団体等の勤務を通じ、福祉との深いかかわりを持つて参りました。

私が福祉に関心を持ちその分野に進むこととなったいきさつは、身内に障害者を持ちつらい思いをしたことが大きな要因でありました。子供の頃祖母が事故により失明、当時福祉施策は乏しく、日常生活面でのハンディを家族でカバーした経験を持ち、また、終戦の年、姉の家族が空爆を受け、夫は即死、自らは右大腿部切断というアクシデントに見舞われ、戦後の厳しい時期に幼児二人を抱え、障害母子家庭として苦しい生活を送っている姿が身近にあり、今後はせめて社会的に恵まれない方々のために、多少なりとも寄与できる職場で働くことができればとの希望によるものでありました。

これまでの四十八年を振り返ってみますと、福祉のいろいろな分野で経験を積み機会を与え

られ、初志に照し非常に恵まれたものであったといえます。その主なものは、生活保護、老人福祉、老人医療、身体障害者福祉、国民年金と広範に亘りましたが、中でもいくつかの新しい制度の策定に参画できたことは幸運でありました。

その一は、急速に到来するであろう高齢化社会に対処するための老人福祉法の制定と老人医療制度の実施でありました。昭和三十八年の老人福祉法については、諸外国に例のない法律でもあり、かなり冷たい意見もありましたが、ねたきり老人等のための特別養護老人ホーム、年金受給者等の利用に着目した軽費老人ホーム、在宅ねたきり老人等の介護のための家庭奉仕員派遣事業を柱とした法律としてその実現を見、また、昭和四十八年の老人医療制度の実施に際しては、一疾病に二制度（医療保険と公費）を適用することへの問題提起もあり、その対応に苦慮しましたが、保険者証等の記号番号化と医療費請求事務の一元化により関係者の理解を得、

当初の予定どおり発足させることができ、ほつとしたことを記憶しております。

その二は、国際障害者年後における障害者の社会参加を促進するための法律の充実と施策の拡充でありました。昭和五十九年の身体障害者福祉法の改正については、理念規定の改正、障害者福祉ホームの位置づけ、身体障害者の範囲の拡大が主なもので、国会も全会一致で可決成立、国民の障害者問題への理解の深さを認識いたしました。また、不幸にして二十歳前に障害になった方々に対する国民年金法による障害基礎年金の適用については、障害者からの強い要請がある反面、年金行政サイドからは、福祉で措置すべき問題を持込まれては困るとの厳しい批判もありましたが、根気強く調整した結果、関係者の理解を得ることができ、昭和六十一年四月より適用が決定した際は、万感の思いでありました。

以上福祉の各分野に参画して参りましたが、それらを通じ得たものは、いかなる困難な問題にも誠意を持って当たれば、必ず解決への道は開けること、また、お年寄りや体の不自由な方々には、親身に接し、先づ信頼を得ることが大事であることを学びました。この教訓を今後共大切に参りたいと思っております。

（株式会社 福祉施設共済会 社長）

衛生管理

砧ホーム 医師 高橋 正 司

友愛十字会は、七つの施設に分かれています。その理由は、十人寄れば十色の姿があるように、いろいろな身体に障害を持つ人々が、利用されているわけです。このような人々の衛生管理を、どのようにすればよいかを考えなければなりません。どんなに考えても充分とは言えませんが、「衛生管理」には、大きな道が二つあると思っています。

第一は「感染症」かと思っています。

第二は「呼吸器から入る化学物質」と考えます。

今回、第一の「感染症」を取りあげて書かせて頂きます。それは、私自身、外科医だからですが、どんなに手術がすぐれていても、術後の感染が起つたならば、その手術は全て失敗です。人間と共に生きている目に見えない微生物は、どれぐらいの数かと言えば、¹⁰10（何十兆）と云われています。しかし、人間に害を及ぼす「菌」は、日本では非常に少なく、現在、無菌国といわれています。（WHO）

新興・再興感染症 ― 逆襲微生物などのこと
ばが使われるようになりました。それは、特殊な感染症が見られるようになったからです。

まず、先きごろ「MRSA」が問題になりました。これは、院内感染症ということばで一応の解決を見ました。学問的に云えば「日和見感染症」― 菌交代現象です。

最近一番問題になっているのが「O-157」です。日本は、感染症の病気が少なくなっていたので、研究する対象が無く、研究者も減少していたのが現状でした。「O-157」は、今も解決されていません。過去を振り返ると、「サルモネラ菌」や「ビブリオ菌」などの問題も有りますが、今の日本では無菌国と云われていて、全国的なスケールの集団発生を見ません。現在、日本では見ることが有りませんが、「O-139」という新型の「コレラ菌」等も有ると云われています。ですから、充分な注意が必要かと思えます。今後、最も注意したい事柄を書きます。前記しました「逆襲微生物」について触れておきます。

「つづが虫病」（原虫）に近い微生物の事です。米国で発生した「在郷軍人病」と云われる「レジオネラ症」及び「クリプトスポリジウム」等といった問題が、次々と発生して来しました。先ず感染を防ぐには、一に手洗い、二に手洗いといえます。幼稚園、保育所などの施設で、こども達が口々に「O-157」と云って、手洗いを励行している様子は、素晴らしいことです。「手洗いを」と云っても、消毒薬などはみだりに使用せず、普通の石鹸で丁寧に洗い、後も流水で一分位かけて洗い流すことです。手拭いも、他人と共通などはもつての外です。今は、使い捨ての物などが有りますが、むしろタオルを使用する場合は、七十度〜七十五度位の熱い物を使って下さい。

「病」の基本は、発赤・腫脹・発熱・疼痛・機能異常の五つです。これらは、自分で予防することは大変むずかしい事です。出来ることならば、なるべく身体を疲れさせない、睡眠を充分に取る、栄養も考えるなどと穏やかな生活心がけて下さい。

前述しました第二の呼吸器から入る化学物質については、「ダイオキシシン」や「NO_x」など、今、まさに話題になっているところです。団体生活の場での衛生管理は、つきることが有りません。

「セルプ」が大きな力となるために

世田谷更生館 館長 石井 晃

一、「セルプ」とは

友愛十字会が経営している高齢者及び身体障害者の福祉施設並びに事業所の計11か所のうち「世田谷更生館」と「友愛園」は身体障害者授産施設です。この二施設が会員として加入していた全国授産施設協議会（略称は全授協）が、平成七年七月一日から「授産施設」という名称を「社会就労センター」（コミュニケーション・ネームは、SELP “セルプ” と呼ぶ）に変更して既に三年半余が経過しました。

「授産」の名称は江戸時代に遡るのだそうです。そして、明治維新には失業武士支援対策としての士族授産、昭和になって社会事業授産施設、戦後の生活保護授産へと受け継がれ、昭和二十四年に身体障害者福祉法が施行されてから現在の身体障害者授産施設が設けられました。その後、精神薄弱者福祉法及び精神保健法にも授産施設が設置され、いかにも歴史を感じさせる古風な名称で、障害者等の援護事業に大きな役割を担ってきました。

「授産施設」の改革は、昭和五十八年十一月、

全授協で、当時の日本社会福祉事業大学板山賢治専務理事（現日本障害者リハビリテーション協会副会長・当法人の理事）を委員長として、授産事業のあり方等について研究し、昭和六十年六月に「人間復権の場をめざして」と題した授産施設の将来の方向付け等について提言を発表したものが最初でした。これが契機となって厚生省もあり方提言を発表され、これを受けて全授協はC I手法を専門とする企業に依頼して、授産施設の体質を含めたいろいろな課題について改革を進め、「授産施設」という名称が国民に馴染みにくいという指摘に答え、最初の取組みを名称変更としたものです。まだ厚生省には正式に認めていただいていませんので、法律用語は「授産施設」のままですが、私達は既に「セルプ」の名称を使用しており、全授協は「全国社会就労センター協議会」（略称は全国セルプ協）に変わり、セルプ製品の改善、開発や、国民の皆様はセルプを広く知っていただき、法律上も

認めていただくよう努力しているところです。

二、「セルプ」の現況

セルプは、法律では、身体障害者福祉法、精神薄弱者福祉法、精神保健福祉法、生活保護法、社会福祉事業法の五法に係わっており、全部で十四種類のセルプが運営を行っています。

法内のセルプは、全国で一、七七三施設（平成十一年二月現在）設置されており、社会福祉施設では、唯一、経済活動をしている特有の形態であります。生産額は、全国では数百億円に及び、日本産業経済界の一翼を担っていることを自負しています。しかし、個々の施設の一人当たり平均工賃は決して高くなく、総務庁からもう少し上げる努力が必要であると指摘されています。最近では、各施設が近代化に向けた取り組みをしつつあり、喜ばしい現象です。それにしても、バブル経済の崩壊以降、かつて経験したことがない長い不況の影響をセルプはまともに受けており、われわれ関係者にとっては、困った大変な問題となっています。

身体障害者の通所セルプは、地域で生活することを基本とする通所の考え方に沿って設置されており、数も増加しています。昭和五十五年は八施設でしたが、十六年後の平成八年には二十四倍増の一九五施設になり、身障セルプの約二・三倍になりました。セルプは、本来通過施

設で、自営や企業等への社会復帰を目的としていますが、企業への就職は難しく、特に近年では企業の経営も厳しく、折角訓練して就労できるまでになっても、余程高い能力を持った障害者でもなかなか受け入れてくれないのが現状です。従って、社会復帰が困難となり施設に長期滞留する結果となっています。

今後の問題を少しでも解消していくためには、福祉工場の増設か、第三セクター等による身障工場の設置などが望まれます。

三、加入率の強化が課題

平成十一・二・十現在、セルフ協の加入率は約半数の五十四・一％に過ぎません。中心となるべき東京都の加入率は、三十・六％とさらに低率であります。今まで加入強化に力を注いでこなかったことへの反省もありますが、未加入施設には公立施設が多く、加入率は僅か五％です。加入していただくよう勧めますと「加入するとどんなメリットがありますか。」という答えがほとんどの施設から返ってきます。「メリットは皆が加入することであり、皆で協力し合って大きな力となり、メリットを生み出すようにしましょう。」と答えています。

今、産業経済界では銀行、自動車産業、石油業界等々、系列を超えた再編成が盛んに行われており、これは日本企業ばかりではなく、外国

の企業なども国際的な規模の拡大を図り、競争力を強化して生き残るための必死の努力をしている様子が、新聞等で毎日のように見受けられます。このような競争の時代に、セルフが単独では果して業績を伸ばし、ハンディを背負った利用者のためにどれだけの援助ができるのでしょうか。もっと施設全体がお互いに密に連携し、英知と汗を出し合って運営の強化を図らなければ、厳しい社会情勢に勝ち抜くことはできないと思います。これからは積極的に加入促進に努め、行政も公立も民間も共に手を携え、「セルフ」が障害を持つ人達の大きな支援となるよう頑張りたいものです。

雑感 実習生と共に

友愛荘
介護係主任 藤田 ユミ子

介護福祉士養成校の施設実習を担当させていただくようになって、もう六年になろうとしています。主な仕事は、養成校との連絡調整、実習予定表の作成と受入れ、そして、介護実習の現場全部に関わることは無理ですが、現場で指導に当たっている職員の報告をもとに、日々の実習記録のコメントをはじめ、最終的な評価等に係わってきました。そんな中で私なりに感じたままを書いてみたいと思います。

実習生は、概して真面目であります。そのような若い実習生が食事、入浴、排泄等の介助実習に、懸命に取り組む姿に「やっぱり町中で見かける若者とは違う」という印象を持っています。ところが、ある口実習を終えた男子学生がひよっこり姿を見せたことがありました。実習中は、服装も地味で真面目そのものに見えたのですが、目の前は、ネックレスをし、耳にはピアスをつけており、街で見かける普通の若者そのものでありました。実習中は無理をして「真面目」を演出していたのだらうかと、多少の衝撃を覚えたのであります。たぶん実習の時は気遣っていたのであるうと気の毒に思う一方で、普通の若者が福祉を目指すようになったのだといった安心感、一昔前にあったような福祉が特別な世界という感覚が薄れ、若い人の中で市民権を得てきている証ではないかと安堵もするのであります。

日々の実習記録に目を通してしていると、当荘の介護に対する疑問や問題点を鋭く指摘している箇所に出合うことがあります。そんな時、正直なところ一瞬、「あなたたち実習生には見えな」ところで苦労しているのよ」と恨みがましい気持がよぎったりすることもあります。私達は、様々な生き様を呈しているお年寄りに、いつも理想的な介護を展開している訳ではありません。実習生には、矛盾を抱え苦闘している私達のそ

のままの介護の現場を提供していると言った方がよいかもしれません。そのような実習の場の中で、全く問題点が認識できない実習生には不安が残りますが、学校の教科書と現実との乖離をしっかりと理解し、学ぶことが出来るよう支援し、私達も彼らと共に歩んで行きたいと思っています。

また、実習指導を引き受けて大変苦労するのですが、実習終了後の評価であります。介護現場の評価、実習ノート及び直接目にする態度等から総合的な評価が求められるのですが、評価事項に係る内容が明確に示されない場合など大変苦慮することになります。評価する側が評価されているような苦しみを味わうのはこのような時です。しかし、多様な職業選択肢の中から、あえて介護福祉士の道を選んだ学生達に、初志を貫徹して欲しいとひたすら念願しながら、的確な評価ができるよう頑張っています。

おわりに、超高齢社会を目前にして、介護者の養成の重要性とその責任の重さを痛感しながら、取り組んで参りたいと考えていますので、皆様のご指導をよろしく願います。

言語療法について

友愛デイサービスセンター
言語療法士(非常勤職員)

高畑 好子

私は五年前から、友愛デイサービスセンターで言語療法士として働いています。

言語訓練は脳卒中や事故の後遺症など様々な原因によって言葉がうまく発音できなかったり、失語症といった「話す」「聞いて理解する」「書く」「読む」という言語機能に障害のある人。先天的な神経の疾患によって、話し言葉やコミュニケーション手段を獲得できない人。食事が咀嚼しやく、嚥下機能に問題があり上手に摂取できない人、耳が聴こえない人などを対象としています。発声、発語器官(口腔、呼吸器官)の機能や言語症状の改善を目的として、わずかでも人とのコミュニケーションをとり易くなるよう考えて訓練をしています。また、机の上の訓練に限らず、他職種の職員に言語障害や摂食障害を持った人への接し方のポイントや、その原因疾患などを説明することも一つの仕事です。通所者の方には家庭に居る時は、その人らしく生活ができるよう、ご家族に助言し、私がフォローできない部分を簡単な訓練の基礎となる事を日常生活の中でお願ひしています。例えば、歯磨き後の「うがい」など、声を鼻に抜けさせない為の大切な機能訓練なのです。

指導、訓練は障害の程度や種類に応じて、また、その方の人格、生きてきた歴史によって違ってきます。

私の指導、訓練は、一緒にその方に合った方

法で、持っている能力が伸び、機能が改善され、回復していく過程を勉強させて頂いているといった方がいかもしれません。例えば、N・Kさんからは、私が鑑賞するだけだった陶磁器について、専門的な本を見せて頂いたり、良い陶磁器を所蔵している美術館を教えてもらったりしました。そして、発音が不明瞭な言葉をしっかりと聴かねば内容がつかめません。私に彼の言葉を聴く学習が求められます。

S・H君は話し言葉が数語しか獲得できていませんでした。でも今は少しずつ増え、自信を持って話すようになっていきます。話し言葉が少なくても人とのコミュニケーション態度を健やかに育てることによって、話し言葉を持ってる人よりもよい人との関わりが持てるということとを教えられました。今は文字言語を特訓中です。このように人と人との細かい関わりは、一対一でつき合うことで、その人柄が滲みでることが沢山あり、この仕事をしていて「よかった」「としみじみ感じながら、根気よく、決してこれ以上悪くならない様に、スモールステップで機能向上、話すことが楽しいと思えることをめざして、毎週水曜日訓練を行っています。

利用者の作品

(俳句)

カナリヤ俳句会

(砧ホーム)

ままならぬ石けり遊び着ぶくれて
耳飾りつけ百歳のクリスマス

高尾きやう

ねんねこを着て買いにゆくお好み焼
信濃路にあじさいを見るバスの旅

中村政子

ふるさとに藁屋根多し雛飾る

息子来て楽しいホームのお正月

相原シナ子

雨降ればだらりと垂れる鯉幟
獅子舞の賑やかに来る笛太鼓

西本光人

しもつけの我家の庭の梅ひらく

雷がこわい元氣なガキ大将

伏木吉一

あやめ咲く檜づくりの小学校

ふるさとのわかさぎ膳のなつかしき

上野順次郎

思い出す息子は遠し鯉のぼり

花冷えや昔は縫いし紳士服

神田文雄

スケートでゆくお使いも学校も

みちのくの花の盛りを夢に見る

宮田やへ

夏空に赤い鉄塔雲走る

日向ぼこ白猫眠る屋根の上

小島寿美子

善意のかずかず

次の方々から善意の金品のご寄贈を頂き、また、
利用者をご慰問下さいました。ここに心から御礼を
申し上げます。

(平成9年4月1日～平成11年3月31日まで)

(寄附金) 敬称略あしお順

○世田谷関係

相原幸利、新井電気工業所、安藤
久夫、青葉学園短期大学、石井洋
一、今井勇、石川豊店石川光信、
井上洋品店、石井アサ子、井山建
設(株)代表取締役井山由三、(有)石井
精肉店石井巖、石井自転車、泉の
家、魚久、園光寺内藤壽昭、荏原
流れ太鼓ひびき会会長岸野勉、N
HK放送技術研究所、(株)大蔵自動
車商会代表取締役長島英行、小野
坂豆腐店小野坂義弘、小方つね、
大野弘、大蔵湯、大蔵電気、大蔵
住宅自治会会長宮崎春代、大蔵東
部町会、大村電気商会、おしゃれ
床やボヌール、オークラストアー、
関東ボウリング場協会、関西ボウ
リング場協会、(株)ガードインフォ
メーションサービス代表取締役鈴
木弘毅、加藤美枝、河島サト、貝
塚富江、カナイ屋精肉店、カナリ
ヤ俳句会、菓子庵青柳、加藤菊代、
北村欽司、砧町自治会、砧出張所
和田武夫、砧教会教会学校、砧商
事奈良友雄、キヌタ書道会菊地偉
雄、クリーニングカシマ、草原裕
美、光寿会会長小池鎮男、国際ソ
ロプチミスト東京一桜会会長小暮
芳子、厚生車輛福祉協会、(株)ゴト
ク濱中伸昭、坂井希、人事院公務
員研修所、ジャパンレディスポウ
リングクラブ、清水一哉、自転車
いしい石井林平、淑徳大学、淑徳
短期大学、昭和女子大学短期大学
部、清水英雄、白河富子、島倉信

二、塩谷実、JA東京中央千蔵地区女性部、昭和女子大学附属昭和・高等学校生徒会、昭和女子大学短期大学部、鈴木磯平、スワロークリーニングマルサン、鈴木淑子、世田谷区婦人団体連絡協議会会長植村聡子、(株)世田谷サービス公社代表取締役志賀司昌、世田谷ビジネス福祉専門学校、世田谷通り砦商店街振興組合、世田谷区身体障害者福祉協会会長飛田享、世田谷区IKK福祉協会、世田谷区高齢者クラブ連合会、全国建物飲料水管理協会東京都支部、(財)日本蜆蛭連盟、第一オーケラストアー柳屋商店、太丸屋衣料(株)、田崎ユキ、高田照子、田坂菊子、高橋文代、田淵はるか、寺重タツヨ、東急弘潤会、東京都福祉人材開発センター、東京都地域福祉財団、東京都立光明養護学校、東京看護婦家政婦協会、東京健康科学専門学校、(株)東京都栄養士会、同栄信用金庫世田谷支店支店長中山清、東京福祉専門学校、富沢キク、(株)東京フェリス、南部自動車(株)代表取締役山本晴之介、内藤千紗子、内藤厚德、

長崎愛子、長岡タイ、内藤とよ、日本福祉教育専門学校、日本放送協会学園、23区南生活クラブ、沼尻善四郎、萩元善三、橋本よしの、畑中克仁、萩原良博、林勝、(有)ヒロ代表取締役雨宮弘和、ビューティーサロン真、ひたちや、(株)福祉施設共済会、藤蔭静照、(有)藤野製麺所、仏教大学実習指導室、(有)フォワード川上雄準、邊見栄次郎、ヘアーサロンスタート、星野商店、細谷吉之助、穂谷野百代、松本商店、松本千勢子、(株)丸山工務店、丸正食品病院前店、梁瀬倉松、(株)メデアフクター、山下英子、八幡はるみ、山本昭一、やぶ久、焼肉乃竹園、ヤマブン青果店山川満、柳屋商店、やきとり田代武、吉岡澄子、(有)リビングタカハシ、渡部信恵、和太鼓会、和太鼓会木村忠敬

○東京都聴覚障害者

生活支援センター

(有)飯田製作所、石川正、(株)ガー
ドインフオメーションサービス代
表取締役鈴木弘毅、川端ち江、ク

リーニングわたなべ渡辺正義、志
村城山町会、秩父市社会福祉協議
会、(株)バンダボックス、(資)村上製
作所、(有)八百幹

○友愛荘

阿部成男、石田正吉、一原松葉、
小川美子、太田新三、大貫享子、
尾辻胖、片山朗、河合源策(日向
太鼓)、熊崎報恩財団、小室フミ、
坂口豊子、佐藤茅子、佐藤由孝、
社会福祉法人福音会、社会福祉法
人合掌苑、菅野昭正、図師寿会、
図師町内会、図師馬駟講中、田口
三郎、田口文子、鶴川サナトリウ
ム病院、東京紀尾井町ライオンズ
クラブ、東京桜ライオンズクラブ、
中村權吾、長野ヒロ子、野口シツ
ヨ、橋本好明、美永会、藤田早苗、
藤原建設、ぶどうの会、松葉の会、
町田市長、水城春美、満井勝朗、
宮沢富貴、明友会、安井てる家族、
八百源、山吹会中尾香奈枝、湯浅
千枝子遺族、友愛荘後援会

(寄附物品) 敬称略あしお順

○世田谷関係

秋元利夫、加藤節生、カトリック
成城協会福祉部、金井房子、キリ
ンビール(株)、(株)黒石法人会、コス
モ石油(株)総務部広報グループ、佐
野彌栄、(株)ザ・リブラ・インター
ナショナル真田広之、(株)資生堂、
創作邦舞河藤流家元河藤湧光、全
国通販津村智和、ソニーPCL(株)、
テレビ朝日福祉文化事業団、東京
花王販売(株)、東京成城ライオンズ
クラブ、東京都少林寺拳法連盟、
東京都食肉環境衛生同業組合、東
京都卵業協会、浪貝力、日本たば
こ産業(株)、萩原淑子、林勝、平
田夕香里、寛仁親王妃殿下、フラ
ワーショップ加盟店会、松野健作、
宮島春三、メドトロニック財団、
モンテ物産(株)、八鍬弘之、若葉会、
ライオンズクラブ国際協会3301
Aガバナリー

○東京都聴覚障害者

生活支援センター

(資)村上製作所、坪木屋精肉店、杉浦健二

○友愛荘

青森県黒石法人会、石田潮四郎商店、キリンビール(株)、越沼泰、佐藤弘、佐藤光枝、関口和江、田中栄子、東京都食肉環境衛生同業組合、東京都麵類協同組合、(株)東急アメニックス、日本たばこ産業(株)立川支店、日本火災海上(株)社長松澤健、平尾昌晃、ふる里渋谷青少年社会参加推進委員会、町田市魚商業組合、(株)町田東急百貨店、美詠会、安田信託銀行町田支店、米屋(株)、楽農会

(慰 問)

敬称略あゝお順

○世田谷関係

あすなろ会左真紀一座、エバードリン三茶、大蔵ふたば保育園、風音、ガールスカウト東京61団、金井俊潔、砧教会教会学校、グループシエネ、座・打瑠間、昭和女子大学シングソングス・ソサイエティー、

粹仙会、世田谷区フォークダンス協会、世田谷児童合唱団、都立広尾高校吹奏学部OB、南京玉簫ボブラ、日本歌謡育成協会、人形劇スーパの会、原章宏、ひまわりボランティア会、ひまわり会、ふじの会、フィルハーモニーカンマーアンサンブル、宮島春三、日黒星美学園合唱部、ヤマハ、寄席演芸望、若葉会

○友愛荘

桜美林幼稚園、小山田桜台保育園、オムロン、熊野神社氏子、コール忠生、天理教北多摩婦人部、東京紀尾井町ライオンズクラブ、ときわ保育園園児、成瀬マンドリーノ、町田第3団ボーイスカウト、ニコニコシルバー会、松葉の会、平尾昌晃、フラダンスひまわり、ふると渋谷青少年社会参加推進委員会、マイレフラスクール吉川、みのり幼稚園、美永会、山吹会、安田信託銀行

(招 待)

敬称略あゝお順

○世田谷関係

アルゼンチン大使館(ピアノコンサート)、(株)あゆみの箱(戸塚きく物語「大輪」、(株)LPW鈴木俊幸「LPW女子プロレスリング」、(株)神原音楽事務所(クリスティーナ・オヨス舞踊団)、砧幼稚園(クリスマス会)クリエイティブ・オフィス ワンズハート(舞台公演)、神津善行(六華仙コンサート'98)、小林豊(映画鑑賞券)さくら銀行(さくら銀行吹奏楽団演奏会)、(株)青少年音楽協会(くるみ割り人形)、テレビ朝日事業部(ミュージカルサーカス)、東京労音(デュークエイセス42年目のコンサート)、東京原宿ライオンズクラブ(社会福祉大相撲)、日刊スポーツ新聞社(TOTOスーパー陸上'98)、(財)日本プロスポーツ協会(大相撲有明場所)、(財)日本バレーボール協会(Vリーグファイナルラウンド)、(財)日本民謡協会(津軽三味線コンクール全国大会)フロンティア・マーシャルアーツ・レスリング(株)(FMWプロレス史上最大のデスマッチ)、

(株)ポリシヨイサーカス(江戸端唄と口舞)、友愛十字会後援会(懐かしの映画アルバム他)ワンズハート「十二夜」ロマンティックコメディ、全国童謡歌謡コンクール)

○東京都聴覚障害者

生活支援センター

板倉恵美子(板倉恵美子リサイタル'98)、木下サーカス東京公演事務局(木下大サーカス)、国立音楽院(ビッグバンド&ウインドオーケストラの饗宴)、(財)日本バレーボール協会(Vリーグ男女決勝ラウンド)、NTT池袋支店(映画「もののけ姫」、三菱ガス化学(株)ブルガリア文化交流演奏会、(株)デイス・レジエンドレスリング(LLPWvs全日本女子プロレス対抗戦)

ご助成御礼

平成九年四月一日から平成十一年三月三十一日までに、世田谷更生館、友愛園及び砧ホームの入所

者処遇向上を図るための設備として、次のご助成をいただきました。各団体の皆様にご心から御礼を申し上げます。

○公益信託宮川高子記念障害者

福祉基金様

授産作業用車輛 一台

○全国労働者共済生活共同組合

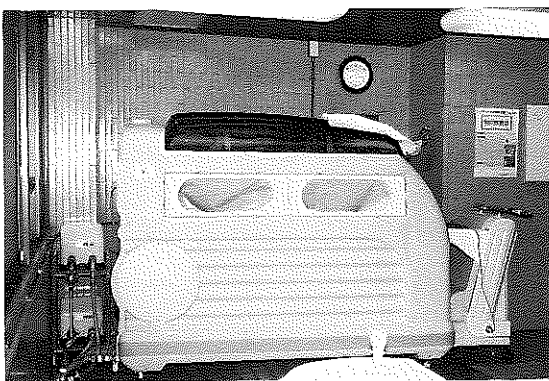
連合会様

授産作業用封緘機 一台

○財富士記念財団様

授産作業用車輛 一台

○(株)世田谷サービス公社様



(シャワーベッド)

授産作業用封入機 一台

○勸中央競馬馬主社会福祉財団様

砵ホーム用

シャワーベッド一台ほか

友愛十字会主要行事

平成9・4・11・3・31

授産作業用封入機 一台

○勸中央競馬馬主社会福祉財団様

砵ホーム用

シャワーベッド一台ほか

友愛十字会主要行事

平成9.4.1～11.3.31

5・21 寮内映画会(居酒屋夕景)

(寮)

5・25 家族懇談会(砵ホ)

5・29～30 一泊旅行(伊豆・稲

取温泉)(友ホ)

6・1 サークル活動(釣り・東

京湾)(寮)

6・5～7・4

演芸鑑賞(砵デ)

6・8 東京都身体障害者スポ

ツ大会

(節)(園)(寮)

6・11 あじさい昼食会(荘)

6・18 利用者懇談会(砵ホ)

6・25 利用者とホームとの懇談

会(荘)

7・2 七夕祭り(砵ホ)(荘)

7・3 観劇(明治座)(友ホ)

7・3～4 宿泊訓練(大山市他)

(寮)

7・4 七夕会(友デ)

7・7 七夕会(友ホ)

7・12～16 七夕会(砵デ)

7・16 保健講座(喫煙問題)

(寮)

7・19 浅見氏百歳記念式典

(砵ホ)

(七夕会・友デ)

7・23～24 納涼盆踊り大会

(世田谷地区施設)

7・26 盆踊り大会(寮)

7・29～8・6 美術鑑賞(砵デ)

保護者会(館)(園)

8・2 クラブ発表会(砵ホ)

8・6 ミニ宿泊訓練A

(ひまわり荘)(友デ)

8・12 盆法要(友ホ)

8・20 地域交流納涼盆踊りの集

い(荘)

8・21～23 葡萄狩り(砵デ)



(七夕会・友デ)

8・28～29 ミニ宿泊訓練B

(ひまわり荘) (友デ)

8・31 板橋区総合防災訓練参加

(寮)

9・5 梨狩り(砧デ)

9・10～13 敬老会(砧デ)

9・11 老人福祉施設芸能大会

(府中の森芸術劇場)

(友ホ)

9・14 板橋区障害者スポーツ大会参加(寮)

敬老会・交流会

9・15 (友ホ) (荘) (砧ホ)

彼岸法要(友ホ) (荘)

9・24 宿泊訓練(青梅市日

9・25～26 の出町) (友デ)

みんなの音楽会(新宿セ

9・28 プンシテイ) (友ホ)

風船バレー大会(荘)

10・3 合同運動会(区立総合運

10・5 動場体育館)

(世田谷地区施設)

10・8 紅葉昼食会(荘)

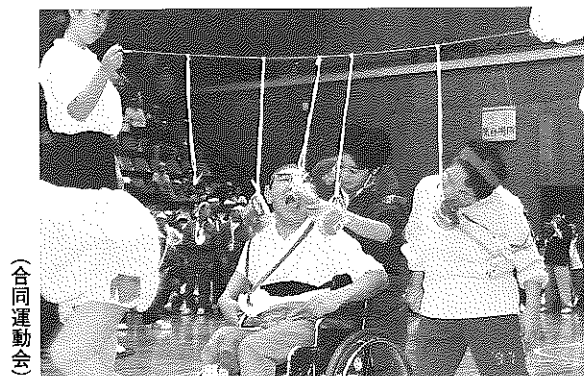
10・10～12 修了者旅行(大島)

(寮)

バスハイク(鎌倉シネマ

10・15 ワールド) (荘)

(寮)



(合同運動会)

10・16～18 宿泊訓練(八丈島)

(寮)

10・17 秋祭り(友デ) (砧ホ)

10・19 愛のステージ(明治神宮

会館) (館) (園)

10・26 文化祭(世田谷地区施設)

10・31 運営懇談会(コ)

11・1～5 文化祭(荘)

11・4～7 バスハイク(鎌倉

(砧デ)

11・5 開園記念式(荘)

11・8 外出訓練(映画鑑賞

(寮)

バスハイク(府中郷土の

森) (砧デ)

11・11 生活講座(各種福祉制度)

(寮)

11・12 映画祭(荘)

11・14 施設交流会(ふらっと船

橋) (友デ)

11・16 グループ活動

(バーベキュー・ハイク)

(寮)

利用者家族懇談会(砧ホ)

11・19 利用者懇談会(砧ホ)

11・21 バスハイク(深大寺)

(友デ)

11・22 町会合同防災訓練(寮)

11・25～12・3 食事会

(味の民芸) (砧デ)

11・28 課外訓練

(工場見学等…東芝科学

館) (館) (園)

11・30 宮様チャリティボウリン

グ大会(品川プリンスホ

テルボーリングセンター)

(館) (園) (コ)

12・10 利用者とホームの懇談会

(荘)

12・12 鏡開き(コ)

クリスマス会(友デ)

12・17 保育園とのクリスマス交

歓会(荘)

年忘れの集い(砧ホ)

12・18 クリスマス会(友ホ)

12・19 年末懇親パーティー

(館) (園) (コ)

12・24 クリスマスと年忘れの集い

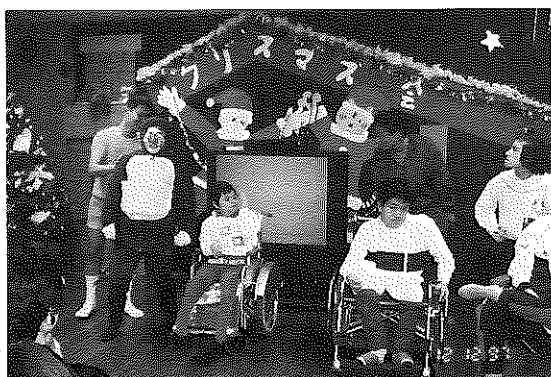
(荘)

12・24～27 年末お楽しみ会

(砧デ)

12・26 餅つき会(中庭) (友ホ)

1・1 新年会(友ホ) (砧ホ)



(クリスマス会・友デ)



(スキー教室・館・園)

- 1・5～10 新年会(砧デ)
- 1・12 かがみ開き(コ)
- 1・13 成人式(友デ)
- 1・14 新年祝賀の集い(荘)
- 1・28 教養講座(風邪の予防)
(寮)
- 1・31～2・4 節分会(砧デ)
- 2・3 節分・豆まき
(友ホ)(荘)(砧ホ)
- 2・11 映画会(荘)
- 2・13～17 観梅(砧デ)
- 2・19～21 スキー教室(群馬県)

- 玉原スキー場(館)(園)
- 2・27～3・3 雛祭り(砧デ)
- 3・3 雛祭り(友ホ)(荘)
- (砧ホ)(コ)
- 3・13 施設交流会(あけぼの学
園)(友デ)
- 3・18 春季彼岸法要
(友ホ)(荘)
- 3・20 運営懇談会(コ)
ボウリング大会
(横浜ラール)(友デ)
- 3・24 手話講習会修了式(寮)
- 3・31 社会見学(水の科学館)
(寮)
- 4・1 ピクニック(砧公園)
(友ホ)
- 4・2～3 地域交流花見会(荘)
- お花見会(砧公園)
(砧ホ)
- 4・4 花見会(コ)
- 4・8～11 花見(砧公園)(砧デ)
- 4・11 バスハイク(砧公園)
(友デ)
- 4・19 家族懇談会(荘)
- 4・28 手話講習会開講(聴)
- 4・30 修了式(聴)
- レクリエーション(友ホ)



(花見・砧デ)

- 5・6 端午の節句(友ホ)
- 5・13 若葉昼食会(荘)
- 5・14 ソフトボール大会(聴)
- 集団屋外訓練(神代植物
公園)(砧ホ)
- 5・15 野外食(友ホ)
- 社会見学(横浜ランドマー
クタワー)(友デ)
- 5・18 観劇会(聴)
- 5・19～23 バスハイク(八景島
シーパラダイス)(砧デ)
- 5・20 ミニ運動会(砧ホ)
- 5・24 家族懇談会(砧ホ)
- 5・27～28 一泊旅行(草津)
(友ホ)
- 5・28 集団屋外訓練(鎌倉シネ
マワールド)(砧ホ)
- 6・4 集団屋外訓練(八景島シー
パラダイス)(砧ホ)
- 6・6 東京都身障者スポーツ大
会(駒沢オリンピック公
園総合運動場)
(館・園・聴)
- 6・10 あじさい昼食会(荘)
- 6・11 処遇懇談会(館・園)
- 6・17～20 演芸鑑賞(砧デ)
- 6・24 観劇(明治座)(友ホ)
- 利用者ホームとの懇談
会(荘)
- 教養講座(聴)
- 7・1 七夕祭り(砧ホ)
- 7・2 たなばた(友ホ)
- 7・2～3 課外訓練旅行(山梨
県)(館・園)
- 7・3 七夕会(友デ)
- 7・8 七夕祭り(荘)
- 7・11 保護者会(館・園)
- 7・15～18 納涼夏祭り(砧デ)
- 7・23～24 盆踊り大会
(世田谷地区)

- 7・25 納涼盆踊り大会(聴)
- 8・4 生活講座(聴)
- 8・5 夏祭(スイカ割り大会)
(砧ホ)
- 8・12 盆法要(友ホ・砧ホ)
- 8・19 地域交流納涼盆踊りの集
い(荘)
- 8・20、21 遠足(ブドウ狩り)
(砧ホ)
- 8・21 映画鑑賞(聴)
- 8・23 みんなの音楽会(新宿セ
ブンシテイ) (友ホ)
- 8・26、27 映写会(砧デ)
- 8・29 運営懇談会(コ)
- 9・2、10 遠足(梨狩り)(砧ホ)
- 9・9、11 敬老会(砧デ)
- 9・12 宿泊訓練(Bグループ)
(聴)
- 9・15 敬老祝賀の集い(友ホ・
荘・砧ホ)
- 9・17、18 宿泊訓練(横浜上郷
の家)(友デ)
- 9・20 O.B.日帰り旅行(聴)
- 9・24 彼岸法要
(友ホ・荘・砧ホ)
- 9・25 芸能大会(友ホ)
- 9・27 家族懇談会(砧ホ)

- 10・18 宿泊訓練(Cグループ)
- 10・14 バスハイク(勝沼ぶどう
狩り)(荘)
- 10・7 紅葉昼食会(荘)
(世田谷地区)
- 10・4 合同運動会(世田谷区立
総合運動場体育館)
- 10・3 全国心身障害者芸能コン
クール「愛のステージ」
明治神宮会館(館・園)
- 9・29 秋祭り(砧ホ・友デ)
- 10・2 町田市風船バレーボール
大会(荘)



(敬老会・砧デ)

- 10・22 愛のコンサート
(聴)
- 10・25 文化祭(世田谷地区)
- 10・28 修了式(聴)
- 11・1、5 文化祭(荘)
- 11・4 開園式(荘)
- 11・8 宿泊訓練(Aグループ)
- 11・10、12 バスハイク(江戸東
京博物館)(砧デ)
- 11・17 町会合同避難訓練
(聴)
- 11・20 映画会(荘)
- 11・21 映画鑑賞(聴)
- 11・29 宮様チャリティーボウリ
ング大会(品川プリンスホ
テルボウリングセンター)
- 12・9 利用者とホームとの懇談
会(荘)
- 12・11 クリスマス会(友デ)
- 12・16 教養講座(聴)
- 12・17、19 年末お楽しみ会
(砧デ)
- 12・17 クリスマス会(友ホ)
- 12・17、19 年末お楽しみ会
(砧デ)



(年末懇親パーティー・館・園・コ)

- 12・18 年末懇親パーティー
(館・園・コ)
- 12・19 家族懇談会(砧ホ)
- 12・24 クリスマスと年忘れの集
い(荘)
- 12・28 餅つき会(友ホ)
- 1・1 新年祝賀会(友ホ・砧ホ)
- 1・4、6 新年会(砧デ)
- 1・13 新年祝賀の集い(荘)
- 2・1、3 節分会(砧デ)
- 2・3 節分・豆まき
(友ホ・荘・砧ホ)
- 2・10 映画会(荘)

2・25 スキー教室(群馬県)

玉原スキ場(館・園)

2・26 バスハイク(次太夫堀公

園)(友デ)

3・1 ひなまつり(砧デ)

3・3 雛祭り(友ホ・荘・砧ホ)

3・4 修了式(聴)

3・5 運営懇談会(コ)

3・7 手話劇鑑賞(聴)

3・12 OB宿泊旅行(聴)

ボウリング大会(横浜ラ

ポール)(友デ)

3・17 春季彼岸法要(荘)

3・23 春の彼岸法要

(友ホ・砧ホ)

3・24 手話講習会修了式(聴)

3・26 修了式(友デ)

3・27 家族懇談会(砧ホ)

3・30 保健衛生講話(友ホ)

3・31 お花見会(砧公園)

(砧ホ)

(注)

館(世田谷更生館)

園(友愛園)

友デ(友愛デイサービスセンター)

寮(東京都ろうあ者更生寮)

聴(東京都聴覚障害者

生活支援センター)

※H10・4・1名称変更

友ホ(友愛ホーム)

荘(友愛荘)

砧ホ(砧ホーム)

砧デ(砧デイサービスセンター)

コ(コーポ友愛)



(ひなまつり・砧デ)



(ボウリング大会・友デ)

職員異動

平成9・4・1～11・4・1

○世田谷更生館

採用調理員 柏木達喜 9・7・10

指導部長より職種変更

施設長 多田金稔 11・4・1

退職調理員 藤田浩一 9・7・10

指導員 小澤鈴子 10・3・31

営繕手 堀江四郎 10・12・31

調理員 柏木達喜 11・2・28

施設長 石井 晃 11・3・31

○友愛園

採用指導員 政所健二 9・10・1

施設長 高塩重光 10・4・1

指導員 小関英利 10・4・1

調理員 寺田美帆 10・4・1

調理員 木藤光太郎 11・1・1

寮 父翁長利弘 11・4・1

退職指導員 福田悦子 9・4・30

施設長 鈴木倫正 10・3・31

調理員 杉浦ハルイ 10・3・31

調理員 寺田美帆 10・12・31

寮 父近藤哲矢 11・3・31

○東京都聴覚障害者

生活支援センター

採用 施設長 杉浦健二 10・4・1
退職 施設長 児玉晶雄 10・3・31

○友愛デイサービスセンター

採用 介助員 三浦直子 9・10・1
介助員 橋本博之 11・4・1
介助員より職種変更

寮 父田中正行 11・4・1
退職 介助員 宮沢孝子 9・9・30
指導員 荒岡重善 10・12・31

○友愛ホーム

採用 指導員 山本健一 9・8・1

施設長 安藤 亮 10・4・1
寮 母森田美枝 10・4・1
寮 父小笠原 慎 10・4・1

寮 母渡部さおり 10・10・1
寮 父田倉康雄 11・4・1
退職 施設長 萩元善三 10・3・31

寮 母林 勝 10・3・31
寮 母山並美弥子 10・3・31
寮 母森下明美 10・10・31

砧ホームへ配置換

寮 父後藤晃一 11・4・1

○友愛荘

採用 庶務部長 松本榮一 10・4・1

寮 母落合雅美 10・4・1

寮 母町久美子 10・4・1

寮 母宮下恵子 10・4・1

寮 母滝 恵子 11・4・1

寮 父藤谷泰造 11・4・1

退職 庶務部長 西倉義憲 9・6・30

寮 父大草 亮 9・10・31

寮 母坂口豊子 10・3・31

寮 母石川和子 10・3・31

寮 母木下好子 10・7・31

寮 母秋山みつる 11・3・31

看護婦 河井富子 11・3・31

○砧ホーム

採用 寮 父麦島 現 9・7・1

看護婦 石橋恵津子 9・8・1

寮 母矢谷節子 9・9・1

寮 母関 千春 9・10・1

寮 母志村藤重 9・10・1

寮 母川端靖子 9・11・1

指導員 金丸崇彦 10・4・1

寮 母竹内真紀子 10・4・1

看護婦 矢原由香 10・4・1

寮 母松本久美子 10・7・1

看護婦 八木ひろみ 11・4・1

友愛ホームより配置換

寮 父後藤晃一 11・4・1

退職 看護婦 亀川博子 9・6・30

寮 母笹島恵美子 9・6・30

寮 母武田啓子 9・8・31

寮 母手島治美 9・8・31

寮 母矢谷節子 9・10・2

寮 母善積裕子 9・12・31

看護婦 石橋恵津子 10・1・31

指導員 柴田志織 10・3・31

寮 母中澤衣恵 10・6・30

寮 母島村淑子 11・3・31

寮 母広石慶子 11・3・31

看護婦 小田切和子 11・3・31

○砧デイサービスセンター

採用 介助員 山本文子 9・5・1

寮 母木村純子 9・8・1

寮 母野口かおり 10・4・1

介助員より職種変更

寮 母関野和美 10・4・1

寮 母山本文子 10・10・1

退職 寮 父栗田富弘 9・6・30

寮 母木村純子 10・3・31

寮 母佐久間副子 10・8・31

介助員 須賀生江 11・3・31

砧在宅介護支援センターへ配置換

指導員 服部久雄 11・4・1

○砧在宅介護支援センター

砧デイサービスセンターより配置換

指導員 服部久雄 11・4・1

○事業部

退職 事務員 佐々木よし子 9・9・30

事務員 岡倉和子 9・9・30

ゆうあい

十九号

平成十二年四月一日 発行

発行 社会福祉法人 友愛十字会

発行人 石井 晃

〒157-8575 東京都世田谷区砧

三丁目九番十一号

電話 (03) 341-6111